

校長の想い1月

隣の芝生は青く見える

新年あけましておめでとうございます。

令和5年がこの神津高校に関わる皆様にとって、飛躍の年となることを祈念いたします。

さて、「隣の芝生は青く見える」とは、他人が持っていたり備えていたりするものは、自分の持っているものよりも良く見えてしまうという事です。

12月の朝礼でお話ししたように、私は教師になりたいと試験を受けて合格できない年が続きました。その時に、試験に合格して先生になっていく人のことを何度も羨ましく思ったことがありました。次の年に合格する保証はないので焦っていました。

時には人に対して「羨ましさ」を超えて「嫉妬」につながる事もありました。

しかし、今になってみると、とても懐かしい出来事です。どうしても教師になりたいければ努力していけば良いことで、人を羨むことはありません。

その時に、試験に合格して教師になれた人も新たな課題が生まれて苦しんでいるかもしれません。教師になったあと自分もそうでした。

だから、みんなが幸せで自分一人が置いて行かれているようなつまらない考え方はもたない方が良いでしょう。

進路の問題だけでなく、昇進、昇給や結婚などもそうでしょう。

大事なことは、「自分の人生は、自分で歩いていくもの」と常に努力すること、人に感謝する気持ちをもつこと、人のアドバイスを素直に聞けることだと思います。

それらのことを忘れずに前を向いて歩いていくことが大切です。

長い人生です。必ず良いことが、あなたにも待っています。

今年も頑張っていきましょう。